

**R2.10.8(Thu)5 校時 3年1組 健康な生活と疾病の予防**

第2実践も新型コロナウイルス感染拡大防止をしながらの実践となりました。今回は生活習慣病について、各班1台のタブレットを活用し、スクールシールドで感染予防をしながら話し合う活動を行いました。本来ならば、授業を公開し、直接先生方にご意見をいただきたかったのですが、残念ながら叶いませんでした。第3実践に向けては、公開ができない場合はリアルタイムで配信する方法等、考案中です。

**1 保健分野（生活習慣病などの予防）の3年1組実践**

生徒の主体性を重視した学習活動を展開するための手立てとして、①学習過程と評価の検討、②保健分野が苦手な生徒への意欲喚起、③ICTの活用、④ユニバーサルデザインの視点（焦点化、視覚化、共有化）を取り入れました。



導入でのVTR視聴



タブレットを活用



班での交流を共有

小学校時に生活習慣病の種類や原因等についてはすでに学習しています。そこで今回は既習の知識を活用し、自他の生活から課題を発見し、疾病等にかかるリスクを軽減させ健康を保持増進する方法を伝え合うことをねらいとしました。話し合う活動では、「理解はしているけど、塾があって夕食が遅い時間になる」、「悪いとはわかっているけど、ジャンクフードがやめられない」など、各班では中学生特有の課題が話題になっていました。毛利教諭の「優先順位を考えてみたら」という問いに、生徒は自身の健康な生活について考えを深めていきました。



本時を振り返る

**2 ZOOMでの協議会**

協議会には、東海大学森良一教授、市教育委員会植村指導主事に参加していただきました。森教授からは、①この時期の生活習慣病で扱う内容について、歯周病を入れてほしい。②ワークシートの工夫では、個人の生活習慣病の予防方法について、優先順位や組み合わせでリスクを軽減できるような記述ができるといい、③本授業の深い学びについて、どうして中学生が生活習慣病について学ばなければならないのかについて自分なりの理由を伝えることができればよかった。とご指導いただきました。11月19日（木）の第3実践に向けて、貴重な時間となりました。ありがとうございました。